

具体的な支援方策例(1)

資料: NPO 法人子どもの森(発行)・元気な心と体をめざす「食育」情報誌
「いただきます ごちそうさま」p.16-17, Vol.6(2003)

特集 「うまい」ってなんだろう?

だしのうまい「元氣味噌汁」.....こども の 森 うま味体験 しポート

いろんなだしの味の違いがわかる子になる

クッキングは1年間を通した教室です。年度の初めに、まずかつお節と昆布のだしの味とかおりを覚えます。子どもたちがクッキングに通ってきたとき、ブーンとだしのかおりが子どもたちをむかえます。そのためにスタッフはころあいをおはからって、かつお節を削ります。玄関に入ると「あ、いいにおいだ!」「かつお節のにおいだ」と口々に喜んでいます。このだし作りは「さあ、おいしいものを作るぞ」と子どもたちが心の準備をする大事な導入の部分と考えています。



今年初めての、けずり節でだし作り。「これ、知っている人、いるかな?」削り器を差しで聞いたら、8人中1人いました。

味噌を味見。味噌を汁にいて、また味見。
味見をいっぱいしながら、味噌汁の味を決定。

「うまいじる」を手本に、味見を実践してきました。
味見を実践してきました。

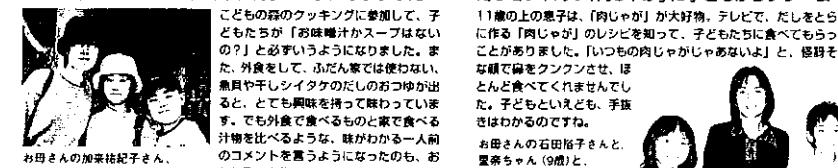
外食で味わうおだしの味に興味を持つようになりました



お母さんの加来祐子さん、
万葉ちゃん(11歳)と精信くん(9歳)

だしをいれないと「内じゅが」に子どもからクレーム

子どもの森のクッキングに参加して、子どもたちが「あ味噌汁かスープはないの?」と必ずいうようになりました。また、外食をして、ふだん家では使わない、魚貝や干しシタマのだしのつゆを出ると、とても興味を持って味わってします。でも外食で食べるのと家の汁物を比べる時、味がわかる一人前のコメントを言うようになつたのも、おもしろい変化です。



お母さんの石田裕子さんと、
豊崎ちゃん(9歳)と、
健太くん(11歳)

この森では、児童・小学生まで、自分たちで料理をし、うま味を子どもたちが味わうを実践しています。目的は、料理の技術の習得ではなく、「手間ひまかけて子どもたちの心を育ててていく」と「子ども森のうまい味体験しポートで、子どもたちの生き生きとしたつづや反応を紹介します。

触つて、味見をたくさんします。
作る過程で見て・かいで・音を聞いて・
しゃべって、味見をたくさんします。

野菜のうまい「カレースープ」

野菜嫌いの子どもも、思わず食べてしまうから不思議

野菜の切れ端をことこと煮込んで作るカレー味のスープです。味は塩、こしょう、色づけ程度にカレー粉を入れて作ります。煮込む前に野菜を味わって、煮込んでスープができるまで野菜を食べて、そして野菜をこして透明なスープも味わう。子どもたちには、たびたび味見をさせます。「絶対に野菜は食べない」なんて言っていた子ども、にぎやかに誘われ、一口ゴックン。不思議です。くさいセロリもんなのその。みんなで作ると野菜嫌いな子もペロリのカレースープでした。



教室に参加している会員さん親子は…

野菜の甘さがわかるようになりました
最初、だしをとてて料理するのは、とても手がかかるめんどうだったのですが、慣れてしまえば、それほど手間でもなくなりました。この森に通うようになってから、子どもたちの野菜が敏感になつたのには、びっくりしています。タマネギやホウレンソウを「甘い」としたりして、添加物の多いものは「苦くさい」と言ったり、素材本来の味を感じるようになったようです。



お母さんの松浦美保子さん、若菜ちゃん(10歳)、
果林ちゃん(5歳)、七海ちゃん(6歳)

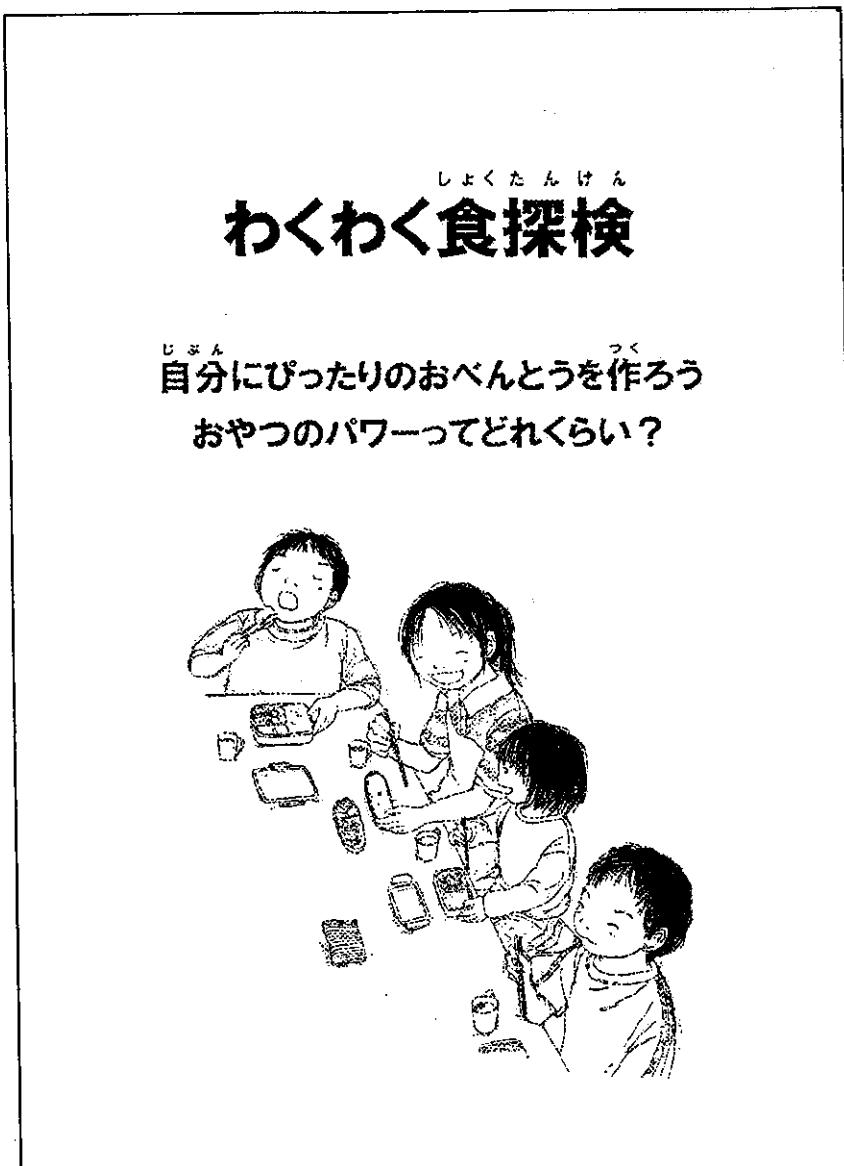


ここに十分
野菜を煮て、
うま味たっぷりのスープ
ができた

野
菜
の
味
の
ス
ープ
だ。

参考 1-2

具体的な支援方策例(2)



「わくわく食探検」冊子縮小版

資料：平成 14 年度児童環境づくり等総合調査研究事業報告書
「地域で支える児童参加型食育プログラムの開発に関する
研究報告書」（主任研究者足立己幸）

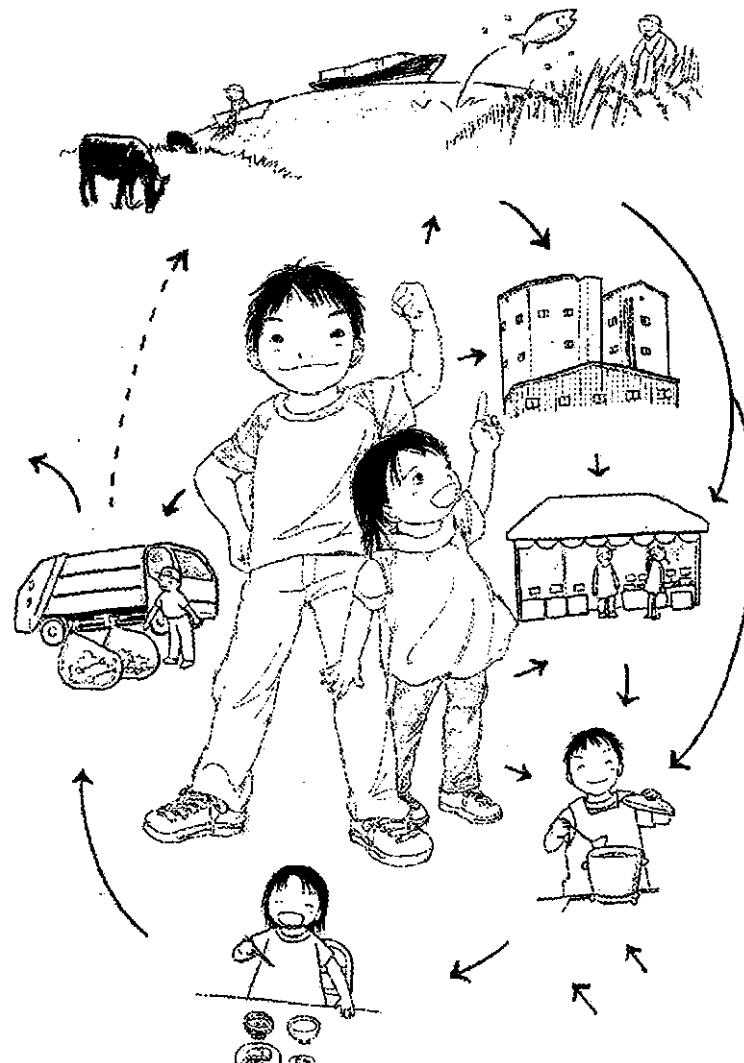
●わくわく 食探検

食の世界って、とってもひろい。
食事をあじわって食べる。食卓をつくったり、じゅんびをする。そのための買い物をする。
食物のほぞんやすてること。ぜんぶ、食のことだね。
そうした食事の材料は、農場など生産され、工場で加工され、マーケットなどに運ばれてくる……。これらもみんな、つながっている。
どこもぜんぶ、わくわくすることが、いっぱいつまっている。

さて、どこから探検しようかな?
この本は、わくわく食探検シリーズの「食べる」入り口からのあんないです。

<自分にぴったりのおべんとうを作ろう>
<おやつのパワーってどれくらい?>
どちらからでも、すすむことができます。

さあ、わくわく食探検に、しゅっぱつ!



自分にぴったりのおべんとう作ろう

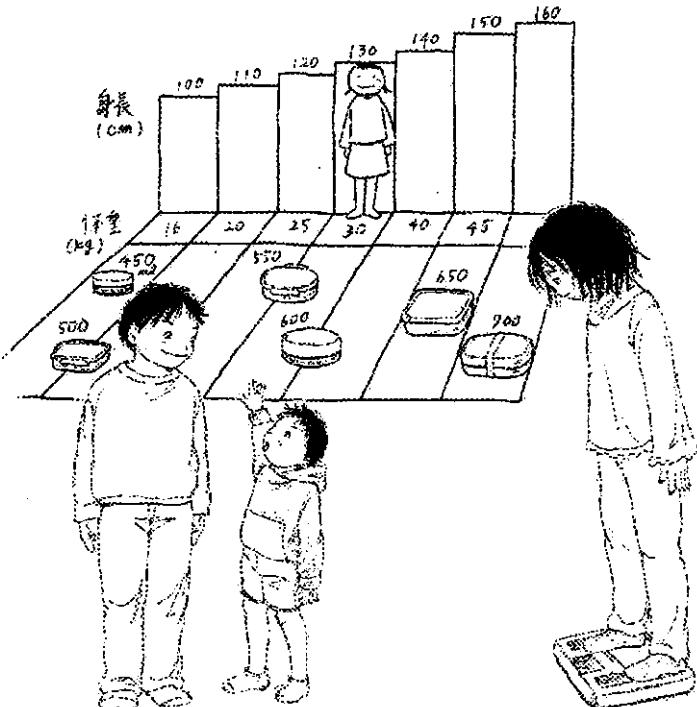
●自分の体を知って、ちょうどいいおべんとうはこを見つけよう

わたしって、ほくって、どれくらい大きいの？ 身長や体重をはかって、しらべてみよう。

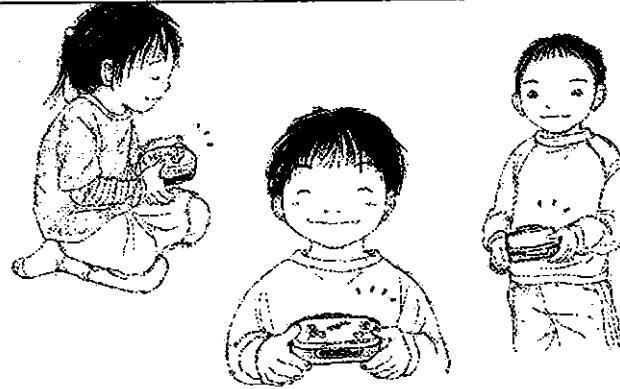
- ・身長をはかる、
- ・体重をはかる。

自分のからだの大きさがわかったら、それに合った、おべんとうはこをえらぼう。

・おべんとうはこのうらに書いてある春巻(500ml)などと書いてあるよを見て、自分にぴったりの、おべんとうはこをえらぶ。これが、だいたい1食分の量。



3



●おべんとうはこに、自分の食べたいものをつめよう

なにが食べたい？ おべんとうはこのなかに、自分の食べたいものを、かいてごらん。

- ・白い紙に、自分のおべんとうはこを、そのままうつす。
- ・そのおべんとうはこのなかに、自分の食べたいものを、かいてごらん。



4

●なにを、どれだけ食べればいいの？

4ページでかいおべんとうは、自分にとってちょうどいい、ぴったりのものだったかな？
なにを、どれだけ食べればいいのか、かんたんにわかるものさしがあるよ。
それは、主食・主菜・副菜の3人トリオ。この主食・主菜・副菜の3人トリオがそろうと、おいしいし、げんきに大きくなっていくために必要な栄養素が、うまくそろってしまう。

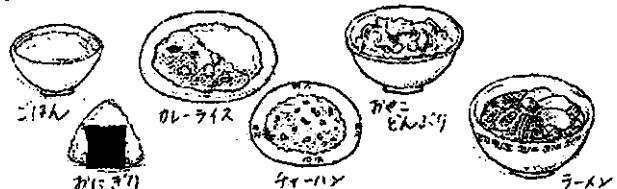
なにを、食べればいいかわかったかな。

そう、主食・主菜・副菜の3つがそろうといいんだよね。

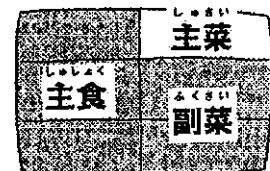
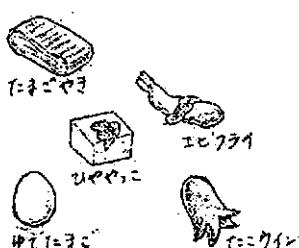
では、その主食・主菜・副菜を、どれだけ食べればいいんだろう？

・3ページでえらんだ、自分にぴったりのおべんとうはこを、6つのへやにわける。
・6つにわけたへやの3分に主食、1つに主菜、2つに副菜をつめてごらん。それが、ちょうどいい量だよ。だから、「ぴったりべんとうの3.1.2の法則」とよんでいる。

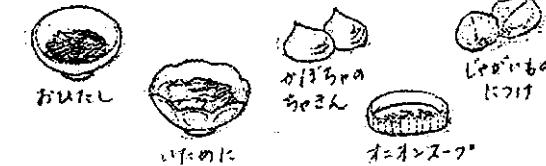
食事の中心の料理のこと。炭水化物を多くふくみ、エネルギーのもとになる。米やこむぎから、できているよ。



おもなおかずのこと。タンパク質や脂肪を多くふくむ、主菜のおもな材料は、魚、肉、大豆、たまご、乳製品だよ。



やさいやいも、海そうなどき、おもな材料にしたおかずのこと。カルシウム、鉄、いろいろなビタミンを多くふくむよ。



●自分にぴったりの、お弁とうをつくろう

では、もういちど、白い紙に、お弁とうのなかみをかいてみよう。こんどは、自分にとって、ぴったりのお弁とうが、かけるよね。

- ・主食・生葉・副菜、6つのへやのわけかたを、かんがえて、かいてね。
- ・かいた絵を見ながら、ほんものの、お弁とうをつめてみよう。



●いただきます！

自分でつめた、お弁とうは、おいしいですか？ 「多すぎませんか？」 「少なすぎませんか？」 自分にとって、ぴったりでしたか？

- ・だれかほかの人のために、その人にとっての、ぴったりべんとうを、つくってあげよう。



<おやつのパワーってどれくらい?>

●どんなおやつが好き?

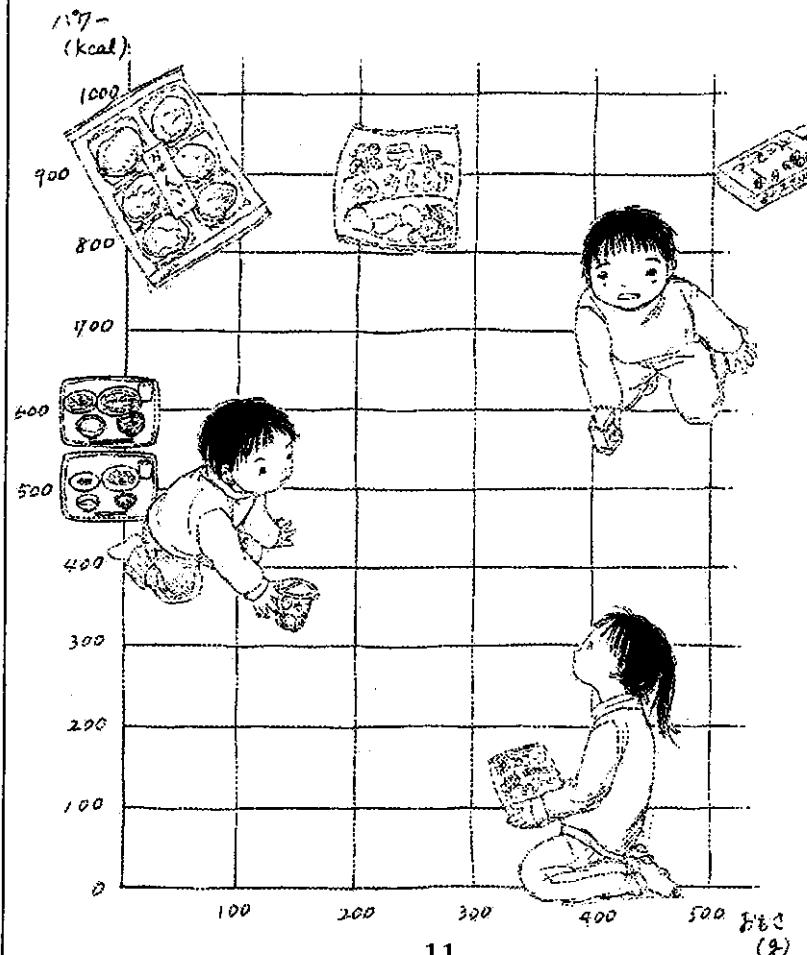
どんなおやつが、すき? どんなおやつが、食べたい?

- ・ すきなおやつは、どれ?
- ・ いつも食べている、おやつは、どれ?
- ・ ちょっと食べるといいとおもう、おやつは、どれ?
- ・ 食べるとよくないとおもう、おやつは、どれ? なぜ? そうおもうの?

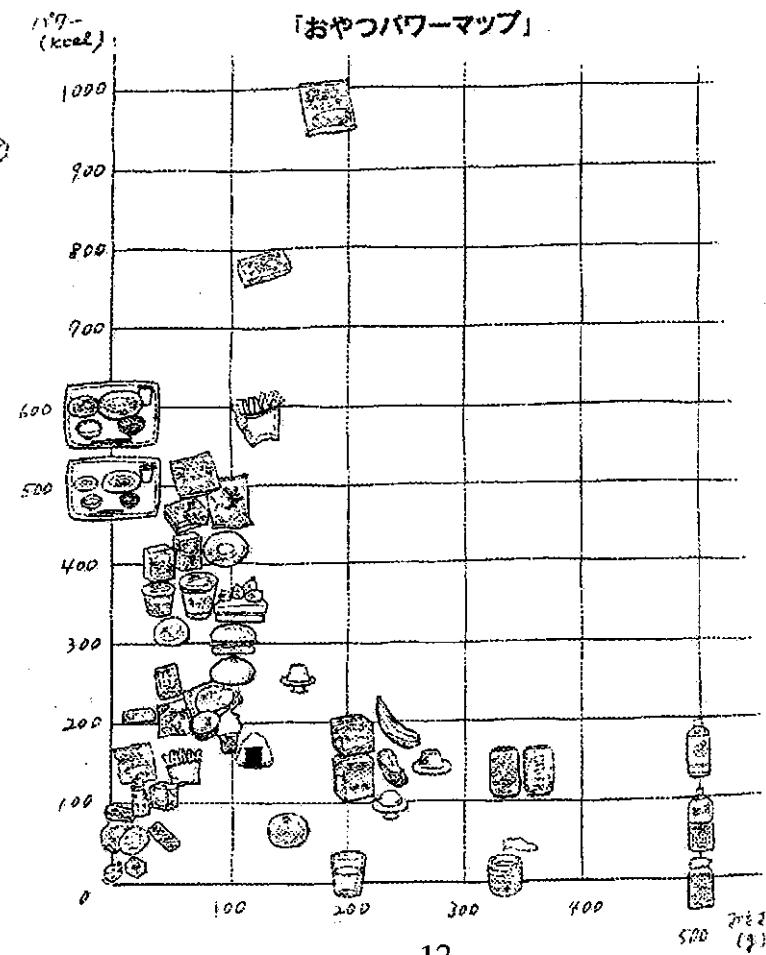


●おやつには、どれくらいのパワー（エネルギー）があるの？

10ページでえらんだ、おやつのパワーが、どれくらいなのか、しらべてみよう。
1食分の食事のパワーをヒントに、10ページでえらんだおやつを、おやつマップの上
に、ならべてみよう。



おやつのパワーはこれだ！



●ちょうどいいおやつって、どれくらい？

ちょうどいいおやつの量（1日に食べるぜんぶのおやつの量）は、食事1食分のはんぶんくらい。自分にぴったりの量の量は、自分のお盆とうばこに入る量だったね（2ページを見てね）。つまり、そのはんぶんの量が、ちょうどいいおやつの量というわけだ。

- ・パワーの大きいおやつは、ふくろから出して、わけて食べるといいよ。
- ・パワーの大きさをしめすのが、カロリー。おやつのはこやふくろのうらを見ると、おやつのカロリーが、かいてあるよ。
- ・水分もだいじ。水やお茶は、すきなだけ、しっかりのんでいいよ。

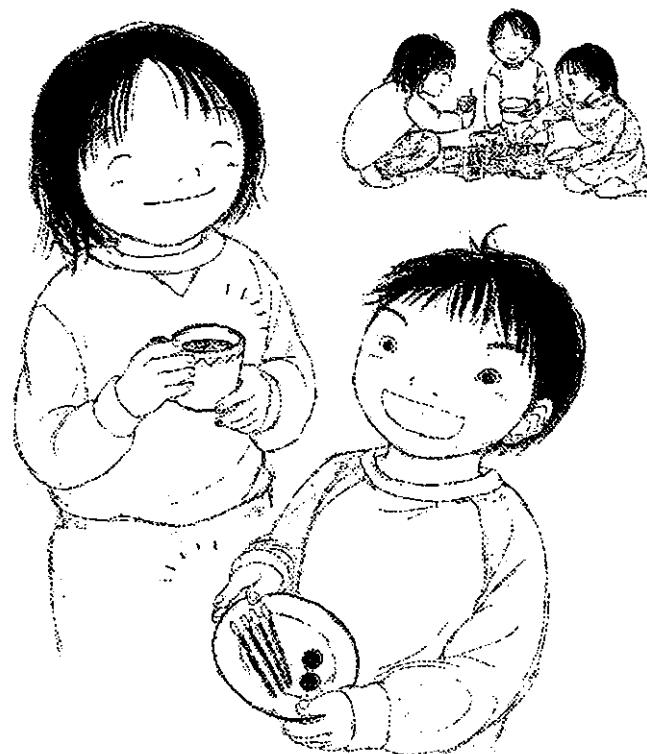
●いただきます！

ふくろをかたづけて、手をあらって、さあ、みんなで「いただきます！」。

おいしいね。もっと食べたいな。

でも家にかえったら、すぐタダだから、このくらいで、ぴったりなのかもしれないね。

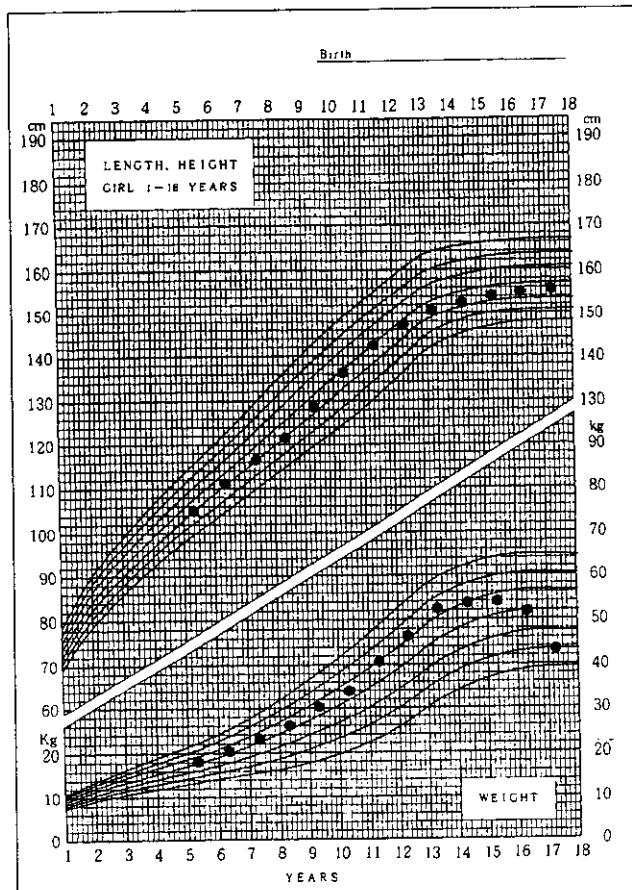
- ・おやつマップに、食べたおやつを、どんどんはっていこう。
- ・からだにぴったりの、おやつづくりを、おとうさん、おかあさん、ともだちど、いっしょにやってみよう。



具体的な支援方策例(3)

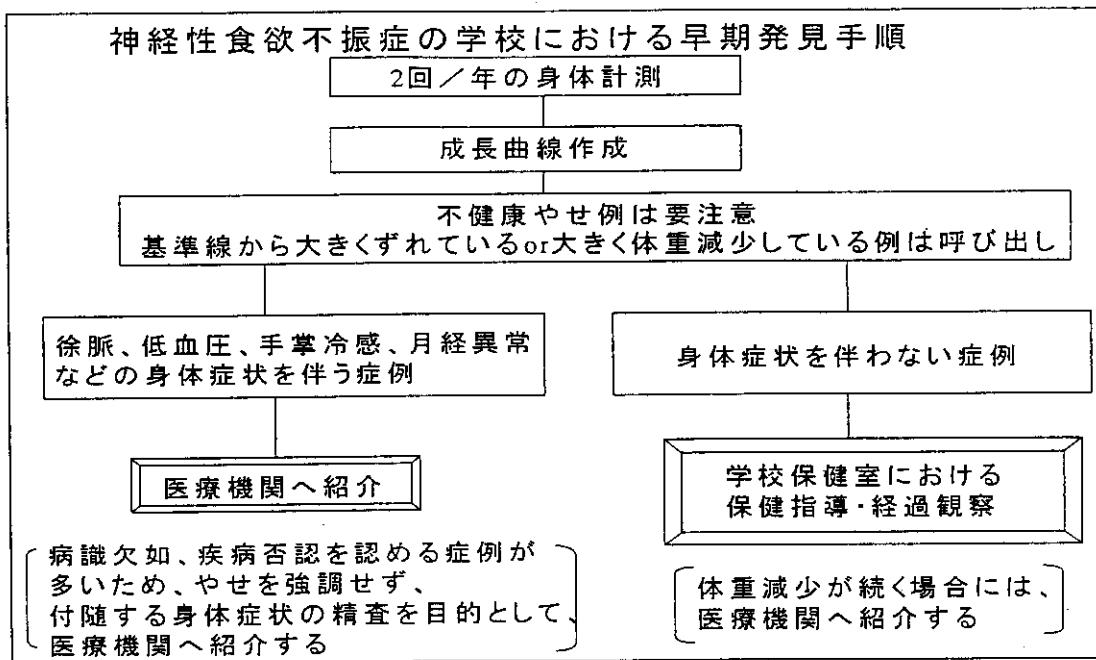
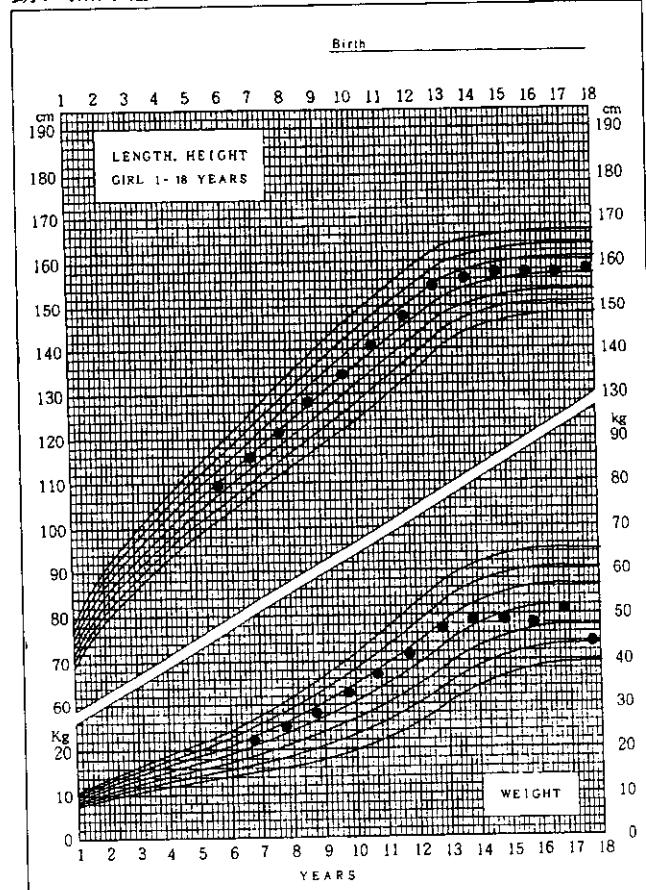
<①成長曲線例>

(-15%以上の体重減少と過剰なダイエット、異常な食行動、無月経、徐脈などが認められる生徒)



<②の成長曲線例>

(体重減少は-15%未満でも、肥溝度が-15%以上のやせを示し、過剰なダイエット、異常な食行動、無月経、徐脈などが認められる生徒)



資料：平成14年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究)「思春期やせ症の実態把握及び対策に関する研究」(主任研究者：渡辺久子)

成長曲線(身長の標準)

健康な発育をしているか どうかを知るために

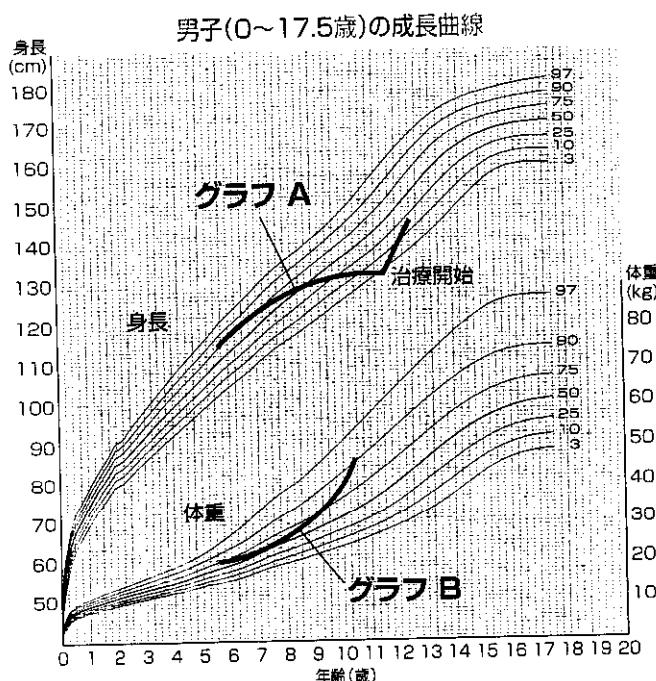
8ページから11ページの図(グラフ)を見てください。これが成長曲線を描くための基準になる成長曲線(基準成長曲線)です。上方の7本の曲線は身長の曲線、下方の7本の曲線は体重の曲線です。これら7本のうち、まん中の太い曲線(パーセンタイル値50)が標準の成長曲線で、これをはさんで上下3本の曲線は、個々の子どもの成長曲線が正常か異常かを判断するためのものです。

さあ、成長曲線を描いてみましょう!

まず、過去から現在までの身長や体重の測定値をできるだけたくさん集めます。母子手帳や保育園・幼稚園・小学校の健康診断の記録が残っていると思います。次に、男の子の場合は8・9ページ、女の子の場合は10・11ページを開いてください。グラフのたて軸に身長(左側)と体重(右側)、横軸に年齢(月齢)がとっていますから、それぞれの年齢の時に身長が何cmであったか、体重が何kgであったかを確かめ、グラフの上に●のしるしをつけます。その「しるし」を年齢順に線で結んだものが、お子さんの成長曲線です。

●後天性甲状腺機能低下症(グラフA)

7歳6ヶ月頃より急に身長の伸びが悪化し、12歳頃から、治療により急速に身長が伸び出している。

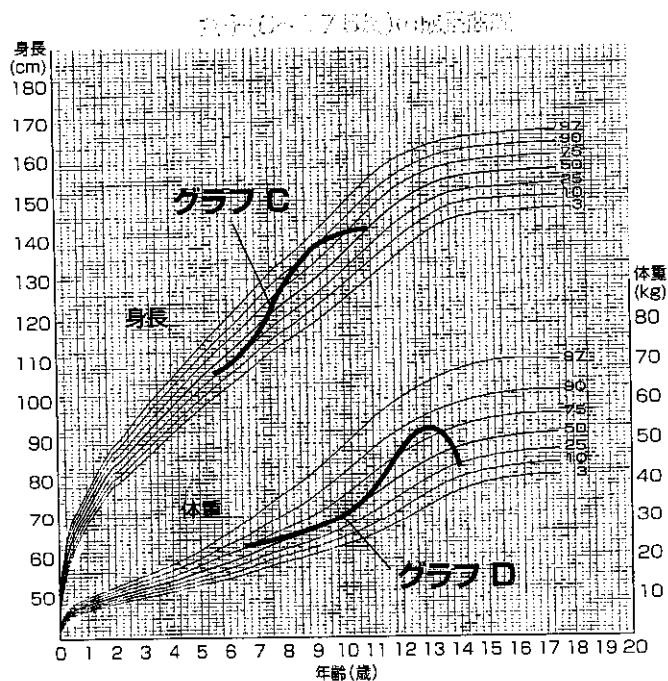


●単純性肥満(グラフB)

この男子は8歳すぎから急速に体重の増加が著しくなっている。

●中枢性早熟症(グラフC)

7歳頃より急に身長が伸び出し、10歳をすぎるとからはほとんど身長の伸びが見られない。



●神経性食欲不振症(グラフD)

一時肥満だったが、その後急速に体重が減少してきている。